

単位認定講座

★ 『今昔物語集』 を読む

巻二十四 王朝貴族の面影

『今昔物語集』全三十一巻の中から巻二十四を選び、その中で語られる貴族説話を取り上げる。平安時代は四百年近く続き、その中でおびただしい人材が登場して、それぞれ個性的印象を残しているが、その中の代表的な四人と、彼らをめぐる人々の挿話を取り上げ、関係資料や多彩な伝承を活用して読み解きたい。

テキスト／岩波文庫『今昔物語集 本朝部・中』(岩波書店)1,102円

コード：16109 定員：20名

日程：5/16, 23, 30, 6/6, 13, 20, 27, 7/4 (全8回)

時間：月曜日 11:10～12:40

受講料：16,000円〈テキスト代別途〉

講師：三木 紀人／城西国際大学教授

《講師メッセージ》

私が古典文学に取り組むようになったきっかけの一つとして、出身高校の先輩として敬愛した作家芥川龍之介の影響があります。彼が特に好んだ古典として『今昔』『宇治拾遺』という二つの短編物語集の名を聞いて、それに基づく『羅生門』『芋粥』などを読んだ時の興奮は忘れられません。その余波として大学の卒業論文で『宇治拾遺』を取り上げましたが『今昔』に関心を持ち続け、昭和50年、NHKの古典講読の時間を担当させて頂いた最初のお機会は『今昔』を選びました。中学や高校の教育ではあまり取り上げられない為に、ご存じなかった視聴者が多く、この作品の魅力を初めて知ったという反響が多く寄せられて嬉しかったものです。しかし、時間的制約等で個々の物語の説明が思うように出来なかった面もあり、それが悔いとして永く残っていました。今回、その思いを少し晴らしたいという狙いもあります。ふるってご参加頂き、ご意見などお聞かせ頂ければ幸いです。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 源博雅 (第二十三) | 数寄人の源流 |
| 2. 同じ | |
| 3. 藤原為時 (第三十) | 苦学と自己実現 |
| 4. 同じ | |
| 5. 藤原公任 (第三十四) | 知識人の光と影 |
| 6. 同じ | |
| 7. 藤原実方 (第三十七) | 「みちのく」を見た人 |
| 8. 同じ | |

【申込み方法】

電話 ⇨ 03-6238-1400

受付時間／10:00～18:00

(土曜・日曜・祝日を除く)

FAX ⇨ 03-6238-1399

E-Mail ⇨ kioiclub@jiu.ac.jp

任意の様式に《氏名・学籍番号・FAX番号またはE-Mailアドレス・講座名》をFAXまたはE-Mailにて送信

城西エクステンション・プログラム事務局

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

城西大学 城西国際大学 東京紀尾井町キャンパス